

特定非営利活動法人東京シューレ

2015年度

活動報告書



フリースクールフェスティバル ヒップホップステージ発表

特定非営利活動法人東京シューレ

東京都北区岸町1-9-19コーエイビル 〒114-0021

TEL03(5993)3135 FAX03(5993)3137 E-mail : info@shure.or.jp URL : <http://www.tokyoshure.jp>

もくじ

ごあいさつ	理事長 奥地圭子	-----3
2015 年度(第 17 期) 事業報告		-----4
■ 1. 2015 年度基本方針・重点目標をふり返る		
■ 2. 事業の概要		-----4
■ 3. 30 周年記念事業について		-----6
■ 4. フリースクール事業について		-----7
(1) 王子シューレ		
(2) 新宿シューレ		
(3) 柏の葉シューレ		
(4) シューレ大学		
■ 5. 在宅不登校支援・ホームエデュケーションネットワーク事業について		-----12
■ 6. 高校コース事業		-----13
■ 7. その他の活動		-----14
■ 8. 団体の運営に関する報告		-----16
■ 9. 決算に関する報告		-----17
監査報告		-----24
資料	役員名簿	

ごあいさつ



NPO法人東京シューレ理事長 奥地圭子

1985年に誕生した東京シューレは、昨年満30年を迎え、多くの皆さまのご協力を得て盛大かつ意義のある30周年祭を行うことができました。一般社会の価値観が学校へ行って当たり前、行けないのは問題という考え方の中、学校外の子どもの居場所、子ども中心の学び場としてのフリースクール東京シューレが持続かつ発展してきたのは、多くの方々の理解とお力添えがあつてこそできてきたことと、あらためて思っております。

そして、子どもの学ぶ権利が本当に満たされるためには多様な学びや成長のあり方が認められてこそ保障されるものだという私たちの考えてきた方向に社会のしくみを少しでも変えていこうと取り組み始めた立法の取り組みは、紆余曲折を経て、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保に関する法律(案)」として、5月10日国会へ上程されました。

そのための活動にも多大なエネルギーを要した一年間でしたが、今年度いよいよ国として初めて、学校以外の学びを法的に認め、休養の必要性も明記された法律のもとで、子どもの状況に応じた支援のあり方を創っていくことができます。

もちろん、私たちが求めたものとは質が下がった内容ですが、私たちが求める多様な仕組みに近づくための一歩になります。そして大切なことは、法律ができたら自動的によくなるのではなく、私たちが活用して活かしたり、理解者を広げること抜きにしてはよくなることから、今年、東京シューレはどうしていくのか、それも視野に入れて、方針と活動を考えてまいります。

また、長年、大田の土地建物は立地の問題が懸案したが、今年は、未来に向けて活かすチャンスと考えております。会員の皆さまといっしょに生かし方を考えてまいります。

どうぞ、よろしく願いいたします。

2015 年度 (第 17 期) 事業報告

■ 1 2015 年度の基本方針・重点目標

下記の重点目標を設定して 1 年間取り組んでまいりました。

〔重点目標 1〕東京シューレ 30 周年事業の成功とそれを活かした取り組み

- ・ 記念イベント・パーティ、記念講演は合わせて 1500 名を超える来場。尾木直樹さん講演、子ども・若者や保護者のステージ、現役シンポ、OB・OG シンポ、展示など歴史の厚みを感じさせるイベントとして大成功をおさめました。関係者ほか、地域、北区長・教育委員長、区議、国会議員等の列席も多数あり、多様な学びを広く伝えることもできました。
- ・ 不登校大学は全 30 講座を開講。著名な講師も多数迎え、深く網羅的な学びが実現し、不登校が開く未来を再認識できました。
- ・ 『OB・OG100 人インタビュー』は冊子 3000 冊と WEB 版を作製、高い反響がありました。
- ・ 記念寄付募集、記念ロゴ決定、記念 T シャツやグッズ、記念誌、奥地新刊など、幅広い取り組みが行われました。

〔重点目標 2〕流山シューレの確立・会員増・経営安定を目指した取り組み

- ・ ミーティングをととした活動や学習が充実し、他スペースとの交流も進み、フリースクール・居場所として確立したものとなりました。
- ・ 独自の説明会開催や WEB 広報に力を入れ、初中等部の入会者が増えましたが、退会や会員異動もあって赤字運営の解消までには達しませんでした。

〔重点目標 3〕議連による立法、国のフリースクール支援の実現に向けた取り組み

- ・ フリースクール全国ネットワークや多様な学び保障法を実現する会と連携して、議員連盟・立法チームへの陪席やヒアリングをととして立法実現に精力を傾け、今国会(第 190 回)で上程、成立を目指しました。
- ・ 国(文科省)の「フリースクール等検討会議」には奥地が委員として関わり、民間・現場の立場から意見を明確に伝えてきました。立法との関係で任期が延長され、今年度も検討が続くことになりました。

〔重点目標 4〕関係団体と連携して、不登校の子どもの権利の前進を図る取り組み

- ・ 不登校の子どもの権利宣言を広めるネットワーク、子どもの権利条約フォーラム(石巻)、フリースクール全国ネットワーク(フリフェス・JDEC・スタッフ養成)、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク(山口大会・世話人交流)、全国不登校新聞社などと日常的に連携して、不登校の子どもの学習権保障や支援拡大の取り組みを推進しました。
- ・ 他の NPO・市民団体や財団・企業などと連携して、東京シューレへの助成やプログラム支援を受け、不登校・フリースクール支援を充実させることができました。

■ 2 事業の概要

2015 年度(第 16 期)においても、「フリースクール事業」と「ホームエデュケーションネットワーク(在宅不登校支援)事業」を基幹事業として多様な活動に取り組んできました。また、団体創設 30 周年にあたり、昨年度から準備してきたさまざまな催しを開催し盛り上がり社会への強い発信となりました。議員連盟による立法や国・都による不登校支援やフリースクール支援の検討が進み、メディアにも多く登場する機会も多く、不登校の家庭がフリースクールを選びやすい環境づくりに寄与しました。その結果、東京シューレへの会員も増え経営的にも大きく改善した年となりました。

(1) 会員数等の動向

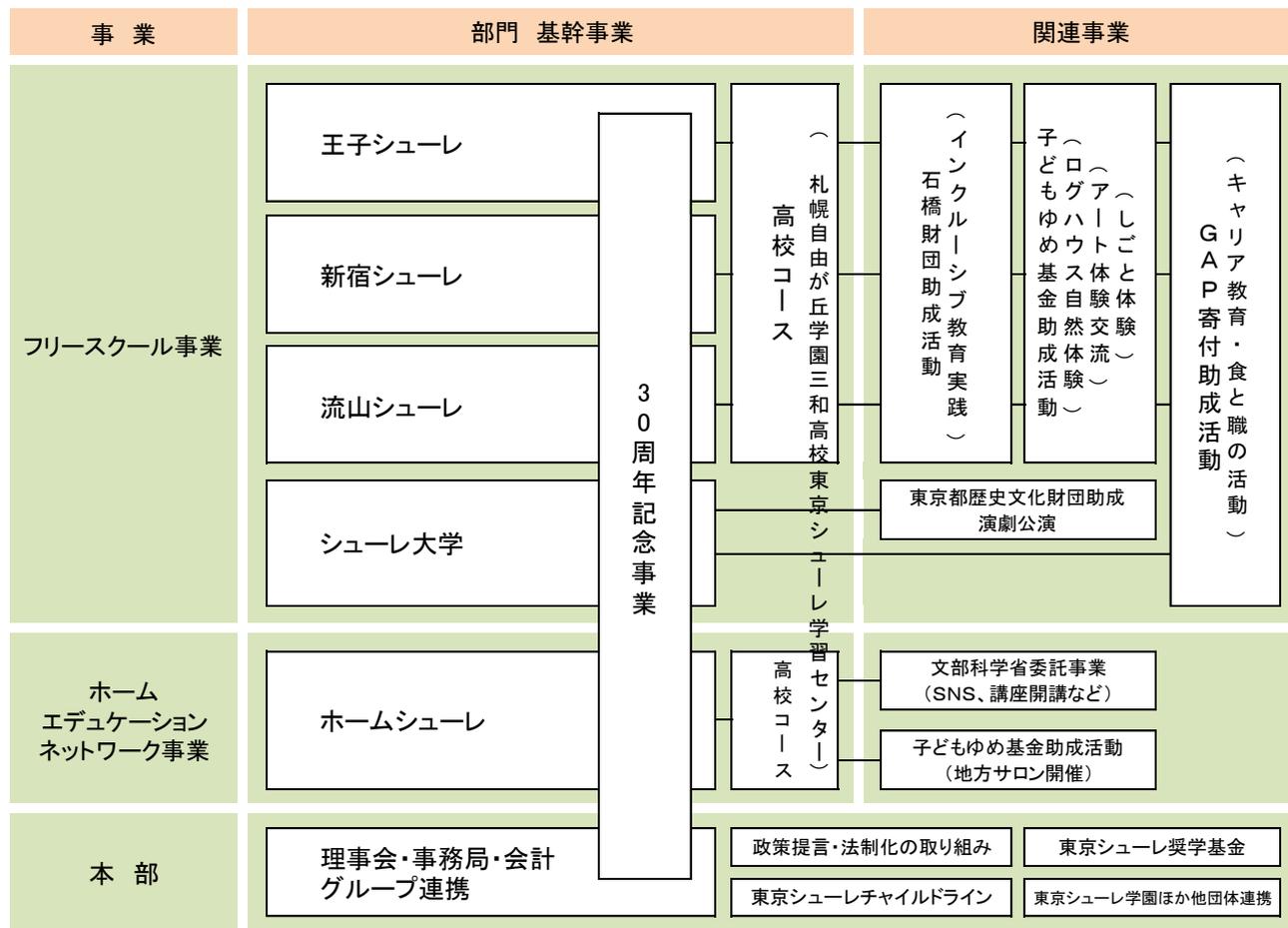
2015年度在籍者数 ()は2014年度

	王子		新宿		流山		ライフデザイン		シューレ大学		ホームシューレ			
説明会申込者数	267 (267)								22 (14)					
説明会参加者数	197 (178)								18 (14)					
入会者数	34 (19)		6 (11)		7 (5)		0 (0)		6 (8)		44 (44)			
在籍者数	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末		年間	年度末	
初	10 (7)	9 (6)	5 (5)	5 (4)	10 (5)	7 (5)						ファミリー	125 (112)	104 (99)
中	22 (18)	17 (16)	9 (9)	6 (9)	3 (2)	1 (2)	1 (1)	1 (1)	31 (29)	29 (28)		ハ°アレント	98 (104)	82 (88)
高	69 (54)	53 (52)	21 (19)	18 (17)	9 (9)	6 (7)								
計	101 (79)	79 (74)	35 (33)	29 (30)	22 (16)	14 (14)	1 (1)	1 (1)	31 (29)	29 (28)	0		223 (216)	186 (187)

(2) 東京シューレの1年

2015	こんなことがありました
4月	高校コース入学式 東京シューレ流山オープニング 文科省フリースクール・不登校検討の合同会議ヒアリングで、OBや保護者が報告
5月	不登校大学全 30 講座開講スタート 30 周年グッズ制作 ホームシューレ名古屋サロン スポーツ交流会 議員連盟が立法を目指すことを決める
6月	NPO通常総会 茂木健一郎さん講演保護者会(不登校大学の一環として) 議連立法チームスタート
7月	尾木ママ 30 周年記念講演会 30 周年記念イベント、「東京シューレOB・OG100 人インタビュー」冊子版完成 ホームシューレ高校コース北海道スクーリング スペース大島合宿
8月	全国ネット山口字部大会 第 8 回シューレ大学国際映画祭
9月	スポーツ交流会 ログハウス自然体験・メンテナンス合宿 議連が当通常国会での法案まとめ延期
10月	シューレ大学研究イベント
11月	ホームシューレ全国合宿 子どもの権利条約フォーラム(石巻)参加 フリースクールフェスティバル 馳浩文部科学大臣と面会
12月	ログハウス自然体験合宿 シューレ大学演劇公演 文科省フリースクール等検討会議で東京シューレの事例発表 議連立法チーム再スタート
1月	フリースクール高校コース北海道スクーリング スポーツ交流会
2月	スキー合宿 シューレ大学絵画展 ホームシューレ掛川サロン
3月	王子シューレ活動発表会 旅立ち祭、高校コース卒業式 ホームシューレ大阪サロン 新宿シューレ音楽イベント 「東京シューレOB・OG100 人インタビュー」WEB 版完成 議連法案とりまとめ、各党討議へ

(3) 2015 年度の事業・活動全体の様子



■ 3 30 周年記念事業

2014 年度より特別事業に位置づけ、保護者・OB/OG・スタッフによる実行委員会と子ども実行委員会をとおして企画準備を進め成功を収めました。子どもの学び・表現活動として素晴らしい経験となり、保護者どうしのつながりを深め、30 年間を支えてきた人びとの再会を喜び、活動を振り返るよい機会となりました。また、多くの協力者や地域関係者、北区区長・教育委員長・教育長・区議会議員、国会議員等の来場も多く、今後を期待しあう機会ともなりました。

(1) 30 周年祭記念イベント・パーティ

●開催日 7 月 12 日 (日) ●会場 北とぴあ さくらホール、あすかホール ●来場者数約 700 名、パーティ 270 名

(2) 尾木直樹さん (尾木ママ) 記念講演会

- 開催日 7 月 5 日 (水) ●会場 北とぴあ さくらホール ●来場者数約 700 人
- 講演テーマ「どの子ども輝く学びの場を～インクルーシブ教育を求めて～」
- 後援：北区教育委員会

(3) 不登校大学開講

- 開講期間 5月6日～6月24日(計17日) ●全30講座開講 ●連続参加34名(部分参加含め72名)
- 講師・ゲストスピーカー(天外伺朗、山下英三郎、内田良子、西村秀明、寺脇研、石川憲彦、井上芳保、鈴木寛、明橋大二、多田元、喜多明人、茂木健一郎、保護者、OB/OG、スタッフ)

(4) 『東京シューレOB・OG100人インタビュー』作成

石橋財団の助成を得て冊子3,000冊とWEB版を作成し、シューレ内外から高い評価を得ました。冊子は記念イベント来場者、協力者、フリネット・親の会全国ネット、行政、議連議員、学識者、メディア等に寄贈したほか、希望者に提供し2900冊以上を配布しました。WEB版は2016年3月末に完了しました。

(5) そのほかの活動

- 各スペースのジオラマ制作と展示 ●記念オリジナルソングの制作と発表
- 記念誌作成 ●記念シンボルマークの制作など。



(6) 寄付募集・記念グッズ

- 総寄付者数428名 ●寄付金額568万8150円 ●記念グッズ: トートバッグ、Tシャツを制作



■ 4 フリースクール事業について

3スペースを週5日で開設し、6歳(小1)～23歳(入会は20歳まで)を対象に受け入れました。

(1) 王子シューレ

事業費 2890万円

説明会参加者数の急増があり、体験見学、新入会のプロセスを丁寧に行うことを意識的に取り組んだ結果、年初予測を上回る会員数の増加となり、シューレ全体の経営安定化に大きく寄与しました。学びや活動を支えるため、多くのボランティア等の力を活用して、一人ひとり個別の講座開講なども充実させることができました。30周年イベントをきっかけに、秋以降のシューレ内外のイベントを自分たちが主体となってつくっていく土壌がよりつくられました。一方、会員増に伴うスペースの手狭感、スタッフ体制の手不足感も課題となりました。

① 30周年イベントへの取り組み

30周年イベントの中心会場のスペースとして実行委員会も中心的に担い、ジオラマづくりなど準備のプロセスから新しく入った会員も含め、多くの会員が関わる機会を持てるよう心がけました。ダンス、ヒップホップ、打楽器などのステージ表現も充実し、子どもたちにとって満足度・達成感の高いイベントになりました。また、イベント以外の交流や取り組みに

も配慮し、安心して過ごせる居場所づくりにも努め、とくに卓球の時間・場所を確保したことが成果をあげました。

② 初等部から高等部まで、個々のニーズに応じた活動から場としての活動へ

個別タイムやテュートリアルをニーズに応じて随時もって、安心して過ごせたり個別に過ごせるスペースをつくるよう努めました。サークル活動は、個々のニーズや興味・関心からスタートして発展し、演劇、コナン、映画、セーラームーン、TRPGなど充実し、提案者は大いに自信を持ち、共同の学びや体験に広がりました。また、動画サイト YouTube に活動紹介する自主映像制作の取り組みも高等部会員で継承され作品がアップされました。

③ 保護者参加の盛り上がり

ママ食堂の開始や 30 周年イベントによって、保護者の参加・協力が増え、いろいろタイムや合宿などにも協力いただきました。また、立法等への関心も高まりました。

④ 助成金を活用した表現活動の広がり企業とのコラボによるプログラムや体験の充実

子どもゆめ基金助成による「アート体験プロジェクト」(ダンス、ヒップホップ、打楽器、演劇、キミ子方式)と「しごと体験」、セールスフォース・ドットコム社の協力によるゲームプログラミング講座、Gap 社による助成や社員ボランティア、ショップ体験、ニッセイ財団助成による木工工房建設、石橋財団によるインクルーシブ教育の推進、オリイ研究所によるロボット「オリヒメ」開発実験への協力など、基金・財団・企業との連携や支援によって活動が充実しました。

⑤ 課題と今後

年初予測を上回る会員増があった一方で、一人ひとり多様なニーズに応えるためのスペースやスタッフ体制の不足が課題となりました。会員増には高校コースの充実も大きく寄与していますが、王子では、単位取得とフリースクールをベースにした学び・活動の両立の難しさも課題となりました。

2015	こんなことがありました
4月	各部での歓迎会 ゲームプログラミング講座はじまる
5月	王子ママ食はじまる スポーツ交流
6月	30周年イベントの準備・練習
7月	30周年イベント 大島夏合宿
8月	4階ベランダに物づくり工房建設
9月	お泊り会、Gap ショップ体験 スポーツ交流、カフェあびる
10月	セールスフォース・ドットコム社オフィスツアー ハロウィンパーティ
11月	フリフェスで「学」のオブジェほか 子どもの権利条約フォーラムで石巻へ
12月	クリスマス会、初の「紅白歌合戦」 冬のログハウス合宿
1月	新年会、機織り機来る 北海道スクールリング、スポーツ交流
2月	18歳選挙権について学ぶ(高)、児童館ギャラクシティ(初)、藤子不二雄ランド(中) スキー合宿、ステート・ストリート社オフィスツアー
3月	活動発表会 旅立ち祭、高校コース卒業式



ジオラマ制作



ゲームプログラミング講座



フリースペース



フリフェス「学」のオブジェ



ものづくり工房



旅立ち祭

(2) 新宿シューレ

事業費 1284 万円

4 月にスペースの改装工事を実施し、スペースの拡張、学習スペースの確保により、集いやすくなって活動も増えました。大きなイベントが多かった一年でしたが、それぞれ子どもたちと話し合いながらイベントを創っていくことができました。学習や勉強への抵抗感を持つ子どもも少なく、安心できるよう話し合いながら、学びの時間を増やしました。年度当初予測していた入会があった一方、退会が少なく、年間を通じて会員数が増えました。

① スペースの環境整備

年度初め講座スペースを広げ、多人数の講座や二つの活動が同時に使えるようになりました。また静かに過ごしたいときに過ごせる空間ともなりました。台所まわりが整備され談話スペースができました。

② イベント

30 周年祭、新宿 20 周年祭、フリースクールフェスティバル、季節の地域行事、音楽祭など、イベントが続き、子どもたちで話し合っ形にしていきました。子どもゆめ基金による「アート体験プロジェクト」を活用して写真・映像制作・ボイストレーニング・ヒップホップの講座が充実し、発表の機会につながりました。スペース全体の大島夏合宿を中心になって企画しました。一方でイベントが好きではない子どもも過ごしやすいよう配慮しました。

③ 広報

新宿区の中学校周りや近隣自治体の教育センター、児童相談所を回りました。活動も Web（一こまブログ、Facebook、Twitter）で定期的に発信しました。

④ 再契約による場の確保

懸案であった新宿区との再契約が実現し、5 年間の場の確保ができ安心しました。再契約に伴って屋上防水、外壁塗装の工事を実施し、施設の保全を行いました。

⑤ 課題と今後

初等部が増え、個別の対応が必要な状況や子ども間のぶつかり合いも増えており、スタッフ体制の手不足です。スタッフ体制の充実が課題です。

2015	こんなことがありました
4 月	改装工事 チュートリアル
5 月	東京シューレ通信編集制作 スポーツ交流
6 月	30 周年イベントの準備・練習
7 月	30 周年イベント 大島夏合宿
8 月	建物外壁・屋上工事 東京シューレ通信編集制作
9 月	新宿シューレ 20 周年祭、しごと体験 穴八幡祭り、野外コンサート参加
10 月	大田お泊り会 東京シューレ通信編集制作
11 月	映像制作、フリフェス フリーマーケット参加
12 月	クリスマス会、冬のログハウス合宿 東京シューレ通信編集制作
1 月	新年会 北海道スクーリング、スポーツ交流
2 月	節分、シューレ卓球大会、スキー合宿 東京シューレ通信編集制作
3 月	旅立ち祭、高校コース卒業式 音楽祭「新宿ふしぎ発見!」



(3) 流山シューレ

事業費 1079 万円

柏の葉キャンパスより引っ越し、流山シューレとしては 1 年目となる年度でした。入会者増による経営の安定化と新スペースでの活動の定着に重点をおきました。広報に力を入れ、流山シューレを会場にした説明会も開催しました。千葉・埼玉・茨城からの問い合わせが増え、会員増につながる成果となりました。とくに初等部の人数が増え元気なスペースになりました。高校コースの開始による会員増も見込みましたが、スペース異動による 1 名が活用するにとどまりました。入会者は増えましたが退会者や準会員への異動もあり、年間会員数が目標におよばなかったことから、経営的な赤字体質を脱するにはもうしばらくの時間が必要です。

① 会員を増やす取り組み、広報活動

広報費用をかけてホームページ、ブログ等を充実させ、サイトアクセス、問い合わせ等の分析を行いました。また流山単独の説明会を年 3 回開催、毎週金曜日をオープンデーにするなど工夫を重ねました。参加者、入会者ともに増え、入会者も 7 名に増えました。

② 流山シューレオープニング

4 月 16 日(木)、新スペースのオープニングを王子、新宿も招いて開催しました。

③ おでかけ企画

子どもミーティングで話し合い活動をつくるかたちが定着し、「アンデルセン公園」「房総の村」などの「おでかけ企画」の実行が継続して積みあがる活動となりました。結果、充実した貴重な体験にもつながり、その他への活動にもつながりました。

④ フリースクールフェスティバル

ゲーム機購入という目標が話し合われ、フリースクールフェスティバルで「玉子焼き・べっ甲飴屋」を計画・運営し、意欲的にイベントづくりに参加するきっかけとなりました。来年度も継続しようと盛り上がりました。

⑤ 保護者会

子どもの活動の盛り上がり、保護者会を相談しやすくするなどして保護者参加も増えました。

⑥ 課題と今後

経営的には組織全体に支えられて成り立っています。施設、スタッフ体制からみて、受け入れ可能な人数まで入会者を増やしていくことが課題です。

2015	こんなことがありました
4 月	東京シューレ流山オープニング めしけんスタート
5 月	おでかけ企画「東京タワー」
6 月	流山説明会 おでかけ企画「東京スカイツリー」
7 月	30 周年イベント スペースお泊り会
8 月	
9 月	流山説明会 おでかけ企画「アンデルセン公園」
10 月	おでかけ企画「房総の村」
11 月	流山説明会 フリフェス
12 月	クリスマス会、冬のログハウス合宿
1 月	おでかけ企画「アンデルセン公園」
2 月	節分豆まき
3 月	旅立ち祭



めしけん



フリースペース



おでかけ企画

(4) シューレ大学

事業費 1871 万円

自分の関心はどこにどうあるのか、という模索も大切にしながら、見つかった関心を存分に深めるという活動を実現する努力と、その関心と働くということがどのようにつながるのかという経験を積みやすくなりました。また、自分はどうに生きていきたいのかという価値観作りもしやすいようにしました。

① 施設・設備の整備

年度初めの新宿スペースの拡充により、活用スペースは縮小しましたが資料室や作業スペースなど学生たちで設備を充実させました。新宿シューレ同様、区との再契約により5年間の場の確保ができました。

② 関心のあることの深化・ひろがりによりしやすくなる活動づくり

学生と担当講師による計画、実施、丁寧な振り返りを行い、4回開催したワンデーワークショップでは学生が講師となったり、発表した後に振り返りシートを書いて配布するなど、学生がより吸収しやすい工夫をしました。

③ 関心のあることを働くことにつながりえる形で深める

映像、デザイン、ウェブ、レイアウト編集を開講し、技術の習得と実際に金銭を得る形の仕事の経験を積みました。

④ 働くことも含め、どう生きていくのかを存分に模索する

「仕事を知る」の講座は実際に働いている OBOG に経験を語ってもらう内容にし、ライフスタイル研究会は月1回開講し、国内外の様々な参考になる事例を取り上げ参加者も増えました。

⑤ 自己否定感を解きほぐしていく

自分を縛ってくるような自己否定感を捉えなおし、整理していく「生き方創造」は、毎週の参加者も 20~25 人と多く大学で特長的な講座として発展しました。

⑥ 30周年事業・イベント

不登校大学の会場として、学生インターンが運営を担い事業の成功に力を発揮し、大学の学びとの相乗効果もありました。記念イベントでは質の高い演劇で観客を魅了し存在感を示しました。

⑦ 国際映画祭、研究イベント・紀要発行、演劇公演、絵画展

映画祭 482 名(例年比 100 名増)、研究イベント約 70 名、演劇公演約 150 名、絵画展 67 名の参加を得ました。演劇公演は東京都「アーツカウンシル東京」の事業助成を得てロシアからモスクワ国際フィルムスクール(MIFS)の若者を招いて共同公演を実現しました。

⑧ 課題と今後

- **学びの環境整備** … 経験を持った講師や機材が必要です。特にソフト・機材の整備が不足しています。
- **関心のあることと働くということの連続性の取組** … 学んでいることと働くことをつながりを感じやすくするためにパイロットプロジェクト等の拡充が必要です。
- **施設・設備の計画的な改善** … 新宿区との4年間の契約期間のなかで計画的な修繕や設備・備品の入れ替えをしていく必要があります。

2015	こんなことがありました
4月	改装工事 新入生歓迎会
5月	ワンデーワークショップ(~6月上旬)
6月	30周年企画・不登校大学(シューレ大学を会場とし、学生もインターンとして参加)
7月	30周年イベントで演劇上演、日本のフリースクールのパンフレットの画像学的分析(30周年イベント)
8月	建物外壁・屋上工事 第8回国際映画祭開催
9月	夏合宿(高尾山にて営林体験など)
10月	研究イベント開催、シューレ大学紀要発行
11月	日韓若者フォーラムに参加(ソウル市)
12月	ロシアからMIFSを招いて演劇公演
1月	自分研究ワークショップを大阪高槻で開く
2月	絵画展を東京国立博物館・応挙館にて開催
3月	報告会、修了報告会、TURN フェスに出品(東京都美術館)



映像ワークショップ



研究イベント



日露共同演劇公演



絵画展

■ 5 在宅不登校支援・ホームエデュケーションネットワーク事業について 事業費 1528 万円

ホームシューレは10年以上続いたファミリー会員の減少に歯止めがかかり、若干増加の傾向を見せています。SNS の利用度が高くなり、前年度の数倍になりました。ファミリー会員の平均年齢は 19.2 歳と依然として高めですが、昨今の進路支援の充実化等により、「進路選択後も交流や相談のためにホームシューレを引き続き活用する」という SNS 的な利用をされることも多くなっています。30周年祭では写真展『ホームエデュケーションの一瞬』を開催し、豊かなホームエデュケーションの様子を展示しました。

① 京阪神地方で3回のホームシューレ・サロンを実施

京阪神での交流機会を増やすため、年度をまたぎつつ、新大阪で3度のサロンを子どもゆめ基金を活用して開催しました。

② 交流やインターンによる年長会員の進路支援の充実

会員間の交流ツールや場の充実、保護者の情報交換と交流など、活動が充実化しました。インターンのしぐみにより、会員が独自に編集会議で企画をたて、取材・原稿依頼・原稿入力・テーブルライト・原稿作成・入稿・発送などに取り組み、高度に自治的な交流誌の発行を続けてきており、年長会員の進路支援としても充実し進学就労も進みました。

③ 入会手続きの見直し

情報を更新し、新たな入会申込用紙のフォームを作成しました。

④ 『ホームエデュケーションの一瞬』展の開催

30周年記念展示として会員にふだんのホームエデュケーションの様子や空気感がわかる写真を送ってもらい、大きな展示をしました。

⑤ 文科省委託実践研究事業の活用

継続的に進路支援をテーマに研究しており、2015 年度が最後の研究年度となりました。SNS 利用者を母集団とした本研究で、交流支援事業・進路支援事業8メニューのうち、4つ以上利用した人の進路獲得率が初めて100%となりました。

⑥ 課題と今後

会員が少な目である現状から、会員増を図るため、具体的にはWEB 広報を見直したい。また、インターンは進学就労により活動へ参加するメンバーが変わってきているため、世代交代の時期となってきました。

2015	こんなことがありました
4月	毎月2回美術コース・イラストコース(大田)、文科省委託事業年間実施
5月	名古屋サロン
6月	
7月	30周年祭にて写真展「ホームエデュケーションの一瞬」
8月	お絵かきサロン(大田)
9月	
10月	
11月	ホームシューレ全国合宿(晴海)、フリフェスツアー&写真展
12月	
1月	
2月	掛川サロン
3月	大阪サロン



■ 6 高校コース事業

事業費 2183 万円

2015 年度はフリースクールコース 49 名、ホームシューレコース 17 名の在籍者でした。教育提携から 4 年目を迎え、高校コースのしくみが確立してきました。新宿シューレは春に改装し学習環境の整備を実施しました。レポートサポート、スクーリングにおいても、可能な限り個別対応を取り入れながら実施し、メンバーの満足度は高かったと思います。年度末には 11 名の卒業生を送り出しました。

2015	こんなことがありました
4月	入学式
5月	東京スクーリングスタート
6月	
7月	ホームシューレ本校スクーリング
8月	
9月	
10月	しごと体験、本校と教育提携改善の検討
11月	
12月	
1月	フリースクールコース本校スクーリング
2月	年度末テスト
3月	卒業式

① レポートサポート、スクーリングへのきめ細かな対応

レポートサポートについては、講師・ボランティアの方に協力いただきながら、個別対応も含めかなり柔軟に対応することができた。東京スクーリングについては、不登校に理解のある葛飾中学校のスタッフに継続して協力いただくとともに、大人数での受講に負担があるメンバーへの対応も含めて毎学期ごとに補講スクーリングを行いました。本校スクーリングについても、親子参加、個室など、なるべく負担なく、楽しく北海道ならではの体験活動を行えるよう本校の協力を得ながら、柔軟に対応しました。

② 総合学習、特別活動、プロジェクト科目等におけるフリースクール・ホームシューレ活動への参画が高まる

高校コースの中で、フリースクール・ホームシューレ活動に参加することで単位認定される取り組みを継続し、とくに 30 周年イベントに関わって多くのメンバーが参加。その後の活動への参加を広げるきっかけとなりました。

③ 卒業生と進路

フリースクールコース 9 名卒業・進学 4 名、ホームシューレコース 2 名卒業・進学 1 名で、進学の進路を選びやすくなってきています。高校コースは卒業しても、フリースクールには在籍を続けるあり方を選ぶメンバーもいます。

④ 教育連携 4 年目を迎え、本校との連携体制がより深まる

本校の協力のもと、高校業務自体をより円滑に行うことができるようになってきています。年度途中の転学などにも本人の意思やタイミングを大切にしながら、柔軟に対応することができました。

⑤ 課題と今後

フリースクール・ホームシューレをベースとした高校コースの学び・活動づくりについて …メンバーの中には単位を取ることに精一杯、あるいはそれを優先したいというスタンスの会員もおり、高校カリキュラムと本来のシューレの学びをどう両立させていくかは課題です。

在籍者数の増加に対して、物的、人的な環境整備について …メンバーの増加に伴い、王子は手狭な状況が続いています。また多くの講師・ボランティアに協力いただいています。教務の業務に携わるスタッフが不足している点も課題でした。



カヌー



茶道体験



手芸体験



スクーリング

■ 7 その他の活動について

本部事業・管理費 3152 万円

(1) 保護者会/親の学び合い・相談/若者支援等の活動

- フリースクール保護者会 …第 2 土曜日年 9 回開催
- 説明見学会 …フリースクール入会希望の保護者対象に王子シューレで毎月 1 回(8 月除く)計 11 回、新宿シューレで 1 回、流山シューレで 3 回開催。申込者 276 名、参加者 178 名
- 相談電話・来訪相談 … 平日月～金 10:00～18:00 に相談電話を常設実施、来訪による相談も受付
- 親ゼミ・親の会 …毎月第 2 木曜日に親ゼミを年間 12 回開講、参加者のべ 211 人、「登校拒否を考える会」は毎月の通信発行と毎月第 3 日曜日の定例会開催に協力。
- 土曜サロン …毎月第 1 土曜日 14:00～17:00 にひきこもり当事者の交流サロンを年 9 回実施、参加者数のべ 84 名

(2) 一般対象の研修・講習会、視察等

- 一般見学会や視察の受け入れ …説明見学会のほか、大田区民生児童委員、大学・大学院のゼミ、全国適応指導教室連絡協議会、地方議会議員(福岡県、長崎県)、行政(東京都教育庁、大阪府教育委員会、埼玉県教育局)など
- 公開ゼミ … 年間 4 回、開催。参加者計 43 人

(3) ログハウスの活用

保護者、OB の参加・協力によるメンテナンス合宿(9 月)、子どもゆめ基金を活用した自然体験合宿(9、12 月)を実施し、王子・新宿・流山の交流、りんごの木、ネモなど他のフリースクールとの交流が実現。年間の活用頻度は少ないままにとどまり課題です。

(4) 東京シューレチャイルドライン

全国のチャイルドライン®と連携して毎週木曜日に実施。受け手と支え手には、シューレ保護者など関係者を中心にボランティアであたりました。チャイルドラインとしての活動は今年度で終了し、2016 年度からは東京シューレ独自の子ども電話として実施することにしました。

(5) 学校法人東京シューレ学園との連携による活動

30 周年記念事業の共同実施のほか、スタッフ連携会議、子どもスポーツ交流、シューレ中での「ようこそ先輩」、合同保護者会、ママ食堂、広報協力など、日常的に連携して活動しました。

(6) 立法、国のフリースクール支援、学校づくり・フリースクール公教育化の活動

① 超党派フリースクール等議員連盟による立法の推進

5 月に超党派フリースクール等議員連盟と夜間中学等義務教育拡充議員連盟が合同で立法作業に着手、フリースクール全国ネットワーク、多様な学び保障法を実現する会と協同して立法チームに陪席し法案とりまとめを推進しました。立法チームヒアリングには奥地のほか OG や保護者が協力しました。法案は第 189 回国会(～9 月)ではまとまりきらず、第 190 回(1 月～)で上程を目指しました。

② 文科省「フリースクール等に関する検討会議」

奥地が委員として参加、不登校に関する調査研究協力者会議との合同会議では、OB、保護者が発表したり、多くの現役会員や OB・OG、保護者が文章で声を寄せ報告しました。

③ 学校づくり活動

東京シューレ葛飾中学校開校につづく高等学校設立をめざし、学園と連携して学校づくり委員会を設置してきましたが、フリースクールの法制化や国の不登校政策の転換やフリースクール支援をとおした運動に傾注したため、学校づくりの活動は一時的に保留しました。

(7) 行政等との連携・協働

- ① **文部科学省** …「いじめ対策生徒指導推進事業」事業委託、フリースクール等検討会議委員に奥地が継続参加
- ② **東京都・東京都教育委員会** …奥地が不登校・高校中退対策検討委員を委嘱され報告書をまとめました。またシューレ大学では東京都外郭の「東京都歴史文化財団」の助成を受けた活動を行いました。
- ③ **千葉県教育委員会** …文科省委託事業で設置している運営協議会に指導主事に参加いただきました。
- ④ **北区** …30 周年記念イベント、文科省委託事業の運営協議会、NPO・ボランティアぷらざでの連携・協力いただきました。また平成 27 年度補正予算「フリースクール等への支援事業」への応募などを働きかけました。

(8) 出版・メディア登場

- 2016.02.20 【TBS テレビ】報道特集「学校を飛び出した子どもたち」(2016/2/20 放送)
- 2016.02.20 【朝日新聞】「多様な学び」大学が本腰 フリースクールから講師
- 2016.02.14 【TBS テレビ】「夢の扉+プラス」オリイ研究所吉藤健太郎さんとロボット開発共同実験 家でフリースクール体験
- 2015.12.11 【J-Wave】「フリースクールと多様な教育機会確保法案」パネラー小野真嗣(芥川賞作家) × 奥地圭子
- 2015.10.20 【週刊新社会】「フリースクール法制化へ 学校以外での生業を義務教育として認める」
- 2015.10.19 【北海道新聞】月曜討論「フリースクール法制化 期待と課題は」横井敏郎×奥地圭子
- 2015.09.28 【日本教育新聞】「フリースクールの制度化 奥地圭子×田中史人」
- 2015.09.15 【週刊新社会】「東京シューレ 30 周年祭 学校外での多様な学び方 公的支援なく自前で」
- 2015.08.10 【教育新聞】「原籍校で出席扱い 児童生徒の 5~6 割 文科省が不登校で初調査」
- 2015.07.14 【朝日新聞】「不登校児に寄り添い 30 年『東京シューレ』3 千人巣立つ」
- 2015.07.12 奥地圭子著『フリースクールが社会を変える』出版
- 2015.05.27 【読売新聞】教育ルネッサンス フリースクール 6 「やりたい」を応援して 30 年
- 2015.06.02 【東京新聞】「フリースクールも義務教育」法案 学びの多様化 経済的支援も
- 2015.05.28 【毎日新聞】「フリースクールを容認 不登校児の義務教育法案提出へ」
- 2015.05.27 【毎日新聞】「学校外で義務教育」法案 不登校対策 転換に期待
- 2015.05.22 【TBS ラジオ】 荻上チキ Session22「フリースクール」ゲスト出演：奥地圭子 電話出演：馳浩議連幹事
- 2015.05.20 【日本経済新聞】「不登校の生の学びや応援 フリースクールめぐり文科将棋論 法的位置づけ/助成金」

(9) 他団体との連携・協働

- ① **関係団体とのネットワーク** …登校拒否を考える会、フリースクール全国ネットワーク（多様な学び保障法を実現する会）、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、全国不登校新聞社『Fonte』など
- ② **地域・NPO団体・企業・財団等との連携** …企業・財団による社会貢献や寄付助成プログラムと連携し、資金、人材、教育資材、学習体験機会などの提供をいただきました。また、活動を賛助会員として支えていただいたり、社員との交流、社員研修への協力なども行いました。

●ご協力いただいたり、協働した企業・財団等（敬称略・順不同）… 石橋財団、GAP Inc.、 ステートストリート、朝日ライフアセットマネジメント、ポーイング社、日本産業パートナーズ、ベイン・アンド・カンパニー、セールスフォース・ドットコム、三井住友海上火災保険、国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金、アカデミアシステムズ、幸栄不動産、パナソニック、JK、稲栄社印刷、ほのぼの運動協議会、アレックス、ナポ、東京シューレ出版、ツナガルラボ、創造集団 440Hz、バーニングギャラクシー、ありん堂、労働者クラブ保育園、ニチイケアセンター、クニイケアセンター、ワーカーズコープ、オリイ研究所、東京都社会福祉協議会、東京歴史文化財団、日本NPOセンター・テックス・Give2Asia、シーズ市民活動を支える制度をつくる会、パブリックリソース財団・GiveOne、北区市民活動推進機構

●賛助会員として支援いただいた企業（敬称略）… 大多喜ガス、五洋建設、東鉄工業、東京鐵骨橋梁

■ 8 団体の運営に関する報告

(1) 組織

- **NPO 年間会員数** () は昨年度年間… 会員 278 (245) 名、支援会員 87 (83) 名、賛助会員 4 (4) 法人
- **総会運営**… 通常総会 2015 年 6 月 13 日 (土) 開催
- **理事会運営**… 役員を選任、理事会年 11 回開催
- **委員会運営**… 財政委員会、学校づくり委員会、給与待遇改善委員会を置き、随時開催しました。
- **スタッフ体制**… 常勤 13 人、非常 11 人、その他約 20 名のボランティア体制をとりました。

(2) 運営・経営

通常事業 (8 部門) と 6 つの特別事業に区分して事業実施し、会計は N P O 法人会計基準によっています。

- ① **通常事業の状況** … フリースクール部門 (王子・新宿・流山・大学) は、王子の入会者の増加、高校コースの増加により、全体の会員数増が支えとなって経営が大きく安定し、経常収益が 1 億 4700 万円超、事業費 1 億 3000 万円超、当期損益 1242 万円となりました。石橋財団からの助成 600 万円にも支えられました。新宿建物再契約にともない外壁・屋上防水工事の負担が発生しましたが、家賃が約 18 万円下げることができました。総会決議予算より好状況であったため、理事会において予算補正を行いました。さらにそれを上回る成果となりました。
- ② **特別事業の状況** … 30 周年記念事業、受託事業、寄付助成による大きな活動は通常会計と区分して実施しました (各特別会計の期末の残金は通常会計に繰り入れて終了しているため、損益差額 0 円となっています)。
 - **30 周年記念事業** … 2 年間にわたる事業で収益が 1200 万円、寄付金は 329 名の関係者と石橋財団 150 万円を含めて 625 万円ものご協力をいただきました。事業の残金は N P O 法人とシューレ学園の通常会計へ繰り入れられます。
 - **文科省委託事業** … 受託費を非常勤スタッフの人件費を中心に充て、不足分はホームシューレ通常会計から拠出して完了しました。事業費 168 万円
 - **子どもゆめ基金助成事業** … 「フリースクール自然体験 (ログハウス)」78 万円、「在宅不登校支援 (地方サロン)」42 万円、「フリースクールしごと体験」24 万円、「アート体験プログラム」90 万円の 4 事業とも完了しましたが、ゆめ基金との精算が終わっておらず助成金は未収金となっています。
 - **東京シューレ奨学基金** … 前期からの繰り越しを原資として、13 家庭に対し 259 万円の減免支援を実施できました。
- ③ **寄付・助成金の受け入れ** … 会員、保護者、スタッフ、個人一般、企業・財団等から、総額 2202 万円のご寄付と寄付物品寄付をいただき、経営と事業を支えていただきました。
- ④ **基本金の組み入れ** … 定款および入会金・会費規程に基づき、使途特定のない一般寄付金と N P O 入会金・年会費 (賛助会員を除く) 相当の 428 万円を基本金に組み入れました。
- ⑤ **スタッフ等の待遇改善** … 宿泊手当の新設、就学時前の子ども手当拡充、アルバイトの時給改善を実施しました。
- ⑥ **施設・設備・備品**
 - **本部・王子シューレ** … パソコンの計画的な入替 4 台、音響機材、木工工房・工具類、スペース椅子、コピー機入替
 - **新宿シューレ・シューレ大学** … 新宿区と土地建物の 5 年間の賃貸借再契約が実現、外壁・屋上防水 740 万円、新宿スペースの拡張に伴う改修工事 132 万円、シューレ大学コピー機入替
 - **流山シューレ** … デジカメ、家電類、映像編集ソフト

■ 9 2015 年度 (第 17 期) 会計報告

(1) 活動計算書 (2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

				(単位:円)				
科目		通常事業	特別事業	合計	通常事業期首予算	通常会計補正予算	決算-補正予算	達成率
I 経常収益								
1.	受取会費 NPO入会会費	4,115,000		4,115,000	3,900,000	3,900,000	215,000	105.5%
2.	寄付金 一般寄付金	443,071		443,071	0		443,071	-
	特定寄付金	8,270,425	3,636,520	11,906,945	7,120,000	7,272,880	997,545	113.7%
3.	助成金 助成金	7,606,000	2,064,989	9,670,989	6,000,000	7,600,000	6,000	100.1%
4.	事業収益 入会金・会費等	102,532,988		102,532,988	99,279,000	102,025,312	507,676	100.5%
	施設整備費	5,170,000		5,170,000	5,069,000	5,545,000	△ 375,000	93.2%
	講習会・補助活動事業等	10,214,057	4,545,500	14,759,557	8,941,000	10,066,942	147,115	101.5%
5.	受託事業収益	10,456,300	1,271,000	11,727,300	10,088,800	10,127,800	328,500	103.2%
6.	その他収益	2,578,677	117,000	2,695,677	2,181,000	2,301,381	277,296	112.0%
7.	基本金組入額	△ 4,258,071		△ 4,258,071	△ 7,250,000	△ 7,250,000	2,991,929	58.7%
経常収益計		147,128,447	11,635,009	158,763,456	135,328,800	141,589,315	5,539,132	103.9%
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
	給与手当(通勤手当含む)	60,123,636	1,602,960	61,726,596	59,931,000	60,852,502	△ 728,866	98.8%
	退職金給付金	452,760		452,760			452,760	-
	法定福利費	8,590,890		8,590,890	7,999,000	8,635,764	△ 44,874	99.5%
	福利厚生費	85,481		85,481	114,000	113,850	△ 28,369	75.1%
人件費計		69,252,767	1,602,960	70,855,727	68,044,000	69,602,116	△ 349,349	99.5%
(2) その他経費								
	講師料・支払報酬等	1,750,162	2,077,202	3,827,364	2,093,000	1,910,947	△ 160,785	91.6%
	印刷製本費	3,735,765		3,735,765	3,862,000	4,146,125	△ 410,360	90.1%
	荷造運賃発送費	541,372	757,871	1,299,243	732,000	581,137	△ 39,765	93.2%
	旅費交通費	2,179,585	1,445,155	3,624,740	2,449,000	2,108,311	71,274	103.4%
	通信費	806,016	55,616	861,632	565,000	812,597	△ 6,581	99.2%
	消耗品費・事務用品費	3,307,392	2,173,130	5,480,522	2,710,500	3,048,325	259,067	108.5%
	その他活動費等	18,701,480	2,999,070	21,700,550	18,079,000	19,101,961	△ 400,481	97.9%
	水道光熱費	2,160,684		2,160,684	2,239,000	2,223,993	△ 63,309	97.2%
	地代家賃	20,542,600		20,542,600	21,867,000	20,542,600	0	100.0%
	賃借料	190,501	874,389	1,064,890	228,000	206,876	△ 16,375	92.1%
	租税公課	4,355,400		4,355,400	2,506,500	4,150,000	205,400	104.9%
	減価償却費・保証金償却費	2,383,644		2,383,644	2,550,000	2,430,000	△ 46,356	98.1%
	奨学基金充当金		2,593,400	2,593,400			0	-
	支払手数料	278,707	99,858	378,565	198,000	236,662	42,045	117.8%
その他経費計		60,933,308	13,075,691	74,008,999	60,079,000	61,499,534	△ 566,226	99.1%
事業費計		130,186,075	14,678,651	144,864,726	128,123,000	131,101,650	△ 915,575	99.3%
2. 管理費								
(1) 人件費								
	役員報酬	960,000		960,000	960,000	960,000		100.0%
	給与手当(通勤手当含む)	1,149,631		1,149,631	1,146,000	1,228,818	△ 79,187	93.6%
	法定福利費	215,993		215,993	141,000	225,315	△ 9,322	95.9%
	福利厚生費	2,763		2,763	2,000	2,900	△ 137	95.3%
人件費計		2,328,387	0	2,328,387	2,249,000	2,417,033	△ 88,646	96.3%
(2) その他経費								
	支払報酬	381,000		381,000	428,000	428,000	△ 47,000	89.0%
	印刷製本費			0	40,000	40,000	△ 40,000	0.0%
	荷造運賃発送費	6,548		6,548	18,000	13,224	△ 6,676	49.5%
	旅費交通費	38,292		38,292	18,000	28,606	9,686	133.9%
	通信費	148,542		148,542	140,000	92,383	56,159	160.8%
	消耗品費・事務用品費	631,817		631,817	417,500	612,414	19,403	103.2%
	その他経費等	496,905		496,905	371,800	361,696	135,209	137.4%
	水道光熱費	120,049		120,049	120,000	120,000	49	100.0%
	地代家賃	888,000		888,000	888,000	888,000	0	100.0%
	保険料	165,085		165,085	45,000	138,325	26,760	119.3%
	租税公課	386,874		386,874	278,500	588,845	△ 201,971	65.7%
	減価償却費・保証金償却費	2,383,644		2,383,644	2,550,000	2,430,000	△ 46,356	98.1%
	支払手数料	180,513		180,513	150,000	172,339	8,174	104.7%
その他経費計		5,827,269	0	5,827,269	5,464,800	5,913,832	△ 86,563	98.5%
管理費計		8,155,656	0	8,155,656	7,713,800	8,330,865	△ 175,209	97.9%
経常費用計		138,341,731	14,678,651	153,020,382	135,836,800	139,432,515	△ 1,090,784	99.2%
当期経常損益差額		8,786,716	△ 3,043,642	5,743,074	△ 508,000	2,156,800	6,629,916	407.4%
III 経常外収益								
1.	奨学基金繰入収益	2,593,400		2,593,400	2,500,000	2,500,000	93,400	103.7%
2.	特別会計繰入収益		7,579,792	7,579,792	1,000,000	2,000,000	△ 2,000,000	0.0%
3.	通常会計繰入収益	2,444,394	479,613	2,924,007			2,444,394	-
経常外収益計		5,037,794	8,059,405	13,097,199	3,500,000	4,500,000	537,794	112.0%
IV 経常外費用								
1. 通常会計繰入額								
2.	特別会計繰入額	479,613	5,015,763	5,495,376			479,613	-
3.	退職金給付引当金	917,349		917,349	1,294,000	1,294,000	△ 376,651	70.9%
4.	雑損失	338		338	500,000	500,000	△ 499,662	0.1%
経常外費用計		1,397,300	5,015,763	6,413,063	1,794,000	1,794,000	△ 396,700	77.9%
当期損益差額		12,427,210	0	12,427,210	1,198,000	4,862,800	7,564,410	255.6%
前期繰越損益額		△ 131,064,470	0	△ 131,064,470	△ 131,064,470	△ 131,064,470	0	100.0%
次期繰越損益額		△ 118,637,260	0	△ 118,637,260	△ 129,866,470	△ 126,201,670	7,564,410	94.0%

(2) 貸借対照表 (2016年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	77,460,615		
立替金	0		
未収入金	3,409,095		
貯蔵品	182,448		
前払費用	2,959,326		
流動資産合計		84,011,484	
2 固定資産			
土地	28,572,060		
建物	15,564,394		
建物附属設備	1,190,212		
備品	920,359		
電話加入権	648,000		
保証金	10,864,000		
固定資産合計		57,759,025	
資産合計			141,770,509
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	13,451,960		
未払金	1,241,611		
仮受金	0		
賞与引当金	3,026,188		
預り金	1,601,302		
寄付金預り金	6,087,484		
流動負債合計		25,408,545	
2 固定負債			
長期借入金	300,000		
退職給付引当金	18,075,165		
固定負債合計		18,375,165	
負債合計			43,783,710
III 正味財産の部			
基本金		216,624,059	
前期繰越損益額		△ 131,064,470	
当期損益増減額		12,427,210	
次期繰越損益額		△ 118,637,260	
正味財産合計			97,986,799
負債及び正味財産合計			141,770,509

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO会計基準協議会)によっています。ただし、使途等に制約のある寄付金収入に係る会計処理は、預り金経理方式を採用しています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法… 法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (2) 引当金の計上基準… 退職給付引当金は、スタッフの退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。

- (3) 用途等に制約のある資金の提供を受けた場合の会計処理… 資金を使用した額を寄付金収入として活動計算書に計上し、期末に次期繰越資金が生じている場合は、預り寄付金として貸借対照表に表示しています。
- (4) 施設の提供等の物的サービス及びボランティア等による役務の提供を受けた場合の会計処理… 役務提供が常勤の場合に収益及び費用として評価し、活動計算書に計上しています。
- (5) 消費税等の会計処理… 消費税は税込経理によっています。
- (6) 基本金の組入… 当法人定款、入会金および会費等に関する規程、理事会決議に基づき、NPO入会金・会費、用途制約のない一般寄付金は基本金に組み入れ、収益から控除して計上しています。

2. 事業別損益の状況

(1) 通常事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	フリースクール事業	ホームエデュケーション ネットワーク事業	管理部門	合計
I 経常収益				
1. 受取会費 NPO入会金会費			4,115,000	4,115,000
2. 寄付金 一般寄付金			443,071	443,071
特定寄付金	8,204,297	66,128		8,270,425
3. 助成金 助成金	7,606,000			7,606,000
4. 事業収益 入会金・会費等	89,452,970	13,080,018		102,532,988
施設整備費	5,170,000			5,170,000
講習会・補助活動事業等	8,269,797	1,944,260		10,214,057
5. 受託事業収益	10,456,300			10,456,300
6. その他収益	2,560,898	900	16,879	2,578,677
7. 基本金組入額			△ 4,258,071	△ 4,258,071
経常収益計	131,720,262	15,091,306	316,879	147,128,447
II 経常費用				
(1) 人件費 給与手当・役員報酬等	52,255,802	7,867,834	2,109,631	62,233,267
法定福利費	7,439,439	1,151,451	215,993	8,806,883
福利厚生費	69,731	15,750	2,763	88,244
退職金	452,760			452,760
人件費計	60,217,732	9,035,035	2,328,387	71,581,154
(2) その他経費 講師料・支払報酬等	1,594,242	155,920	381,000	2,131,162
印刷製本費	443,385	3,292,380	0	3,735,765
荷造運賃発送費	302,531	238,841	6,548	547,920
旅費交通費	2,072,706	106,879	38,292	2,217,877
通信費	779,259	26,757	148,542	954,558
消耗品費・事務用品費	2,971,456	335,936	631,817	3,939,209
その他活動費等	17,928,353	773,127	496,905	19,198,385
水道光熱費	2,160,684		120,049	2,280,733
地代家賃	19,894,600	648,000	888,000	21,430,600
賃借料	189,081	1,420	0	190,501
保険料	0		165,085	165,085
租税公課	4,355,400		386,874	4,742,274
減価償却費・保証金償却費	2,383,644		2,383,644	4,767,288
支払手数料	266,133	12,574	180,513	459,220
その他経費計	55,341,474	5,591,834	5,827,269	66,760,577
経常費用計	115,559,206	14,626,869	8,155,656	138,341,731
当期経常損益額	16,161,056	464,437	△ 7,838,777	8,786,716

(2) 特別事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	文科省 委託事業	子どもゆめ基金助成事業				東京シューレ 奨学基金	30周年 記念事業	特別事業計
		アート体験	ホームシューレ 交流体験	しごと体験	自然体験			
I 経常収益								
1. 寄付金 当期受入額					219,050	3,417,470	3,636,520	
2. 助成金		1,107,027	347,000	229,962	381,000		2,064,989	
3. 事業収益 参加費収益			23,100		392,500	4,129,900	4,545,500	
4. 受託事業収益	1,271,000						1,271,000	
5. その他収入						117,000	117,000	
経常収益計	1,271,000	1,107,027	370,100	229,962	773,500	219,050	7,664,370	11,635,009
II 経常費用								
(1) 人件費 給料手当等	1,193,460				60,000	349,500	1,602,960	
人件費計	1,193,460	0	0	0	60,000	349,500	1,602,960	
(2) その他経費 講師料・支払報酬等	70,000	764,000	17,000	20,000	20,000	1,186,202	2,077,202	
荷造運賃発送費	0	24,913	2,708	7,074		723,176	757,871	
旅費交通費	293,452	277,688	337,448	8,304	182,600	345,663	1,445,155	
通信費	0	6,868		14,260		34,488	55,616	
消耗品費	116,424	12,960	9,059		206,718	1,827,969	2,173,130	
賃借料			2,600		2,928	874,389	874,389	
保険料						1,000	6,528	
奨学基金充当金					2,593,400		2,593,400	
支払手数料	5,940	9,072	432	324	1,080	83,010	99,858	
その他事業経費			54,760	180,000	298,304	2,006,743	2,539,807	
雑費	2,400				16,900	433,435	452,735	
その他経費計	488,216	1,095,501	424,007	229,962	728,530	2,593,400	7,516,075	13,075,691
経常経費計	1,681,676	1,095,501	424,007	229,962	788,530	2,593,400	7,865,575	14,678,651
当期経常損益額	△ 410,676	11,526	△ 53,907	0	△ 15,030	△ 2,374,350	△ 201,205	△ 3,043,642
III 経常外収益								
1. 特別会計繰入金収益						4,229,284	3,350,508	7,579,792
2. 通常会計繰入金収益	410,676		53,907		15,030			479,613
経常外収益計	410,676	0	53,907	0	15,030	4,229,284	3,350,508	8,059,405
IV 経常外費用								
1. 特別会計繰入額		11,526				1,854,934	3,149,303	5,015,763
2. 他の特別会計繰入額								0
経常外費用計	0	11,526	0	0	0	1,854,934	3,149,303	5,015,763
当期損益額	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 基本金計算書 (2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

単位:円

事 項	要組入高	組入高	未組入高
I 前期繰越高	215,415,723	212,365,988	3,049,735
II 当期組入額			
1 NPO入会金・会費収入高	3,815,000	3,815,000	
2 寄付金収入高	443,071	443,071	
計	4,258,071	4,258,071	0
III 当期取崩額	0	0	
IV 当期末残高	219,673,794	216,624,059	3,049,735

(4) 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

計上している役務はありません。

(5) 使途が制約された寄付等の内訳

内容	前期末寄付預り金額	当期受入額	当期減少額	当期末寄付預り金額
1. 特定寄付金				
(1)通常事業				
① フリースクール事業全般		676,370	676,370	
② ホームエデュケーションネットワーク事業全般		66,128	66,128	
③ キャリア教育・「食と職のプログラム」活動	4,173,400	4,579,617	4,520,467	4,232,550
④ 高校コース事業		1,500,000	1,500,000	
⑤ 不登校の子どもの権利宣言を広げるネットワークの活動		249,683	249,683	
⑥ 東京シューレチャイルドライン活動		18,000	18,000	
⑦ 学校づくりや教育多様化を目指す活動		726,477	726,477	
⑧ 自主制作映画普及活動		146,300	146,300	
⑨ スタッフ給与手当等待遇の改善		567,000	567,000	
(2)特別事業				
⑩ 東京シューレ奨学基金	4,229,284	219,050	2,593,400	1,854,934
⑪ 30周年記念事業	3,350,508	3,417,470	6,767,978	0
特定寄付金計	11,753,192	12,166,095	17,831,803	6,087,484
2. 助成金				
(1)通常事業				
⑫ インクルーシブ教育実践研究活動		6,000,000	6,000,000	
⑬ シューレ大学演劇公演活動			1,000,000	△ 1,000,000
⑭ 王子シューレ ものづくり工房建設 工具一式		600,000	600,000	
(2)特別事業				
⑮ 子どもゆめ基金助成の活動	△ 1,584,886	2,064,989	1,584,886	△ 2,064,989
助成金計	△ 1,584,886	8,664,989	9,184,886	△ 3,064,989
備考				
①フリースクールの活動全般に対するセールスフォース・ドットコム社、個人等からの寄付（41件）です。				
②ホームシューレの活動に対する個人等からの寄付（6件）です。				
③フリースクールとシューレ大学の特定活動に対するGap.Incからの寄付です。				
④高校コース入学生保護者からの寄付です。				
⑤子どもの権利条約フォーラムin石巻参加等へのほのぼの運動協議会、個人からの寄付です。				
⑥東京シューレチャイルドライン支援会員からの寄付です。				
⑦朝日ライフセットマネジメントによる寄付助成です。				
⑧自主制作映画活動への個人からの寄付です。				
⑨スタッフの給与待遇改善を目的とした個人（4名）からの寄付です。				
⑩前期の基金繰越とステート・ストリート社社員等からの寄付です。				
⑪当期30周年記念事業への個人からの寄付金と石橋財団からの150万円の寄付です。				
⑫石橋財団による助成活動です。				
⑬東京都歴史文化財団「アーツカウンシル東京」からの助成活動です。				
⑭ニッセイ財団からの助成です。				
⑮国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」からの助成活動です。				
上記の特定寄付金のほか、一般寄付金として35個人、寄付443,071円がありました。				

(6) 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
基本財産						
土地	28,572,060			28,572,060	0	28,572,060
建物	15,024,600			15,024,600	△ 14,977,048	47,552
建物付属設備	24,000,000			24,000,000	△ 16,745,506	7,254,494
備品	292,800			292,800	△ 292,799	1
	699,300			699,300	△ 699,299	1
その他の固定資産						
建物	17,296,786	8,733,592		26,030,378	△ 17,768,030	8,262,348
建物付属設備	2,327,625			2,327,625	△ 2,017,142	310,483
	540,000			540,000	△ 153,000	387,000
	473,340			473,340	△ 473,339	1
	321,258			321,258	△ 116,241	205,017
	556,500			556,500	△ 268,789	287,711
工具器具備品				0		
	803,250			803,250	△ 570,103	233,147
	310,448			310,448	△ 310,447	1
	796,700			796,700	△ 424,906	371,794
	181,749			181,749	△ 16,659	165,090
	189,972			189,972	△ 39,656	150,316
	3,642,557			3,642,557	△ 3,642,588	9
電話加入権	648,000			648,000	0	648,000
保証金	12,744,000			12,744,000	△ 2,000,000	10,744,000
	120,000			120,000	0	120,000
合計	109,540,945	8,733,592	0	118,274,537	△ 60,515,552	57,759,025

※当期取得は、新宿内装工事と外壁、屋上防水工事です。

(7) 借入金を増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金 父母出資金	300,000	0	0	300,000
合計	300,000	0	0	300,000

(8) 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者(2 親等者内の親族、支配する法人)との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	うち役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
I 経常収益		
寄付金	12,350,016	393,480
その他収益(雑収入)	2,695,677	1,822,682
収益計	15,045,693	2,216,162
II 経常費用		
1. 事業費		
講師料・支払報酬等	3,827,364	52,040
地代家賃	20,542,600	480,000
印刷製本費	3,735,765	191,052
消耗品費・事務用品費	5,480,522	64,800
広告宣伝費	331,600	201,480
諸会費	103,200	62,000
2. 管理費		
支払報酬・講師料	381,000	378,000
経費計	34,402,051	1,429,372

役員との取引には、役員本人、NPO法人フリースクール全国ネットワーク、NPO法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、NPO法人全国不登校新聞社、NPO法人日本子どもNPOセンター、多様な学び保障法を実現する会、株式会社創造集団440Hzとの取引があり、近親者との取引はありません。

経常収益における「その他収益(雑収入)」には、事務所賃料、コピー機カウンター料金等の負担分が含まれています。

財産目録(2016年3月31日現在)

(単位:円)

科目		期末帳簿価額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金		251,345	
普通預金	三菱銀行UFJ銀行 王子支店	18,841,717	
	みずほ銀行 "	2,949,912	
	ゆうちょ銀行 振替口座	8,259,825	
定期預金	三菱銀行UFJ銀行 王子支店	47,157,816	77,460,615
未収入金			
未収会費	過年度分フリースクール事業会費	217,200	
	過年度分ホームエデュケーション事業会費	126,906	
助成金	国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金	2,064,989	
	東京都歴史文化財団	1,000,000	3,409,095
貯蔵品			
書籍		182,448	182,448
前払費用			
家賃	王子、流山、新宿	1,688,000	
通勤手当等	2016年度4月～6月分	1,271,326	2,959,326
流動資産合計			84,011,484
2 固定資産			
(1)基本財産			
土地	旧大田シューレ	大田区仲六郷	28,572,060
建物	"	"	47,552
	ログハウス	長野県麻績村	7,254,494
基本財産合計			35,874,106
(2)その他の固定資産			
建物			
	新宿 耐震改修分	658,433	
	新宿 防水、外壁工事	6,540,635	
	新宿 内装工事	1,063,280	
建物附属設備			
	王子 ロッカー、空調機	697,483	
	新宿 玄関、自動ドア	287,712	
	新宿 エアコン	205,017	
備品			
	王子 電話機	233,147	
	16mm映写機、プロジェクター	371,794	
	耐火金庫等什器類	315,418	10,372,919
電話加入権			
保証金	王子ビル (コエイビル)	648,000	
	流山	10,744,000	
		120,000	
その他の固定資産合計			11,512,000
固定資産合計			57,759,025
資産合計			141,770,509
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金			
	2016年度分フリースクール事業会費	11,596,160	
	2016年度分ホームエデュケーション事業会費	1,855,800	13,451,960
未払金			
	社会保険料事業所負担分	556,821	
	3月末退職スタッフ退職金	452,760	
	札幌自由が丘学園三和高等学校への支払分	225,000	
	その他	7,030	1,241,611
賞与引当金			3,026,188
預り金			
	社会保険料スタッフ負担分	556,821	
	源泉所得税預り金	98,446	
	住民税預り金	169,600	
	その他	60,000	
	特別会計預り金	716,435	1,601,302
特定寄付預り金	東京シューレ奨学基金 Give2Asia・ステートストリート社他	1,854,934	
	活動プログラム Gap.Inc	4,232,550	6,087,484
流動負債合計			25,408,545
2 固定負債			
長期借入金			
	父母出資金	300,000	
退職給付引当金			18,075,165
固定負債合計			18,375,165
負債合計			43,783,710
III 正味財産			97,986,799

監査報告

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ
理事長 奥 地 主 子 殿

私は、特定非営利活動法人東京シューレ定款第 22 条に基づき、貴法人の第 17 期事業年度（自平成 27 年 4 月 1 日至平成 28 年 3 月 31 日）の決算に関し、提示された帳簿書類に基づき監査したところ、決算報告書、すなわち通常会計及び特別会計に係る活動計算書、基本金計算書、貸借対照表並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、正規の簿記の原則に従って貴法人の財政状態並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。

以上の通り報告いたします。

平成 28 年 5 月 12 日

監 事

安村長生 

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ
理事長 奥地圭子 殿

私は特定非営利活動法人東京シューレ第17期事業年度（自2015年4月1日至2016年3月31日）の会務および事業・活動は、法人の目的にそって適正に行われたものと認めます。

以上の通り報告いたします。

2016年 4 月 14 日

監 事 牧野 忠



◆役員名簿

理事長	奥地圭子	学校法人東京シューレ学園理事長、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク代表理事、登校拒否を考える会代表、全国不登校新聞社代表理事、フリースクール全国ネットワーク代表理事、多様な学び保障法を実現する会共同代表
副理事長	牧野泰美	新宿シューレ、王子シューレOG保護者
理事・事務局長	中村国生	事務局・王子シューレスタッフ、東京シューレ学園理事
理事	大橋泰之	王子シューレ会員保護者
理事	京藤裕子	王子シューレOB保護者、ホームシューレ会員保護者
理事	下村洋子	王子シューレOG保護者
理事	佐藤信一	王子シューレスタッフ
理事	猪俣由香里	新宿シューレ会員保護者
理事	山本郁子	新宿シューレOB保護者
理事	鈴木（倉原）香苗	新宿シューレスタッフ、(株)創造集団 440Hz 監査役
理事	池田あつ子	流山シューレ、ホームシューレOG保護者
理事	信組（帯津）葉子	流山シューレスタッフ
理事	中島泉	ホームシューレ会員保護者
理事	矢嶋康平	ホームシューレスタッフ
理事	山本さゆり	シューレ大学学生父母
理事	朝倉景樹	シューレ大学スタッフ、東京シューレ学園理事、(株)創造集団 440Hz 取締役
理事	木村砂織	東京シューレ学園理事・スタッフ、全国不登校新聞社理事、日本子ども NPO センター理事
理事	藤田岳幸	東京シューレ葛飾中学校スタッフ
監事	安村長生	公認会計士、税理士、NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク顧問
監事	牧野恵	ホームシューレ会員保護者